開催にあたって

ものづくり総合大会は52年にわたり開催されている、ものづくり戦略・生産技術・製造・購買調達・開発設計・品質・人材育成部門の方々に、3日間のべ約3,000名にご参加いただく伝統ある優秀企業事例の講演会です。

本大会では、ものづくり戦略・生産技術・製造・購買調達・開発設計・品質・人材育成領域における広いものづくり視点から、講演企業各社の実践的な最新事例に学び、自社活動へ即座にご活用いただくことができます。

我々日本能率協会は、日本製造業のイノベーションが世界を変えると信じており、各企業の異なる考え方・取組みを共有することが大きな価値を生み、企業の課題解決や継続的な発展に寄与すると信じています。

日本産業界からの推薦や期待が反映された、年に一度の貴重な情報交流と人的交流の場に、あなたもぜひ足をお運びください。

日本能率協会創立総会岸信介商工大臣記念講演(1942年)

第1回能率大会（1943）

第3回ワーク・ファクター国際大会（1969）

ZD大会での開会式（1968頃）

大会の特長

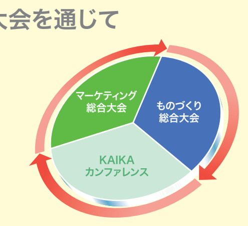
1. 先進優良企業の経営者がこれからのものづくり経営を語ります！（オープニングセッション）
2. ものづくりの改革・改善分野において貢献された方を表彰します！（オープニングセッション）
3. 先進企業36社が最新のものづくり事例を語ります！（企業事例セッション）
4. 生産・調達・開発・品質の広いテーマから、これからのものづくりを考察できます！（企業事例セッション）

協　賛

（順不同・一部予定を含む）

一般社団法人日本機械工業連合会
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
一般社団法人日本工作機械工業会
一般社団法人日本機械学会
公益社団法人日本経営工学会
日本メンテナンス工業会
一般社団法人 日本化学工業協会
一般社団法人日本産業機械工業会
一般社団法人日本設備管理学会
一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本能率協会は、3大会を通じて経営革新の推進をお手伝いします



日本能率協会では
- ●ものづくり総合大会（15.2.18～）
- ●マーケティング総合大会（15.3.3～）
- ●ＫＡＩＫＡカンファレンス（15.2.18～）

の3大会を開催しております。

2015 ものづくり総合大会 ホームページお得情報

ものづくり総合大会 ［検 索］ http://jma-seisan.jp/

1 企画委員 特別インタビュー
先進企業から集った選抜メンバーである企画委員の方々に、ものづくりへの熱い思いをインタビューいたしました。

2 企画委員会 ディスカッション集プレゼント
企画委員会のディスカッションの模様を一冊にまとめました。

3 特別小冊子「これからの生産技術者の役割」プレゼント
ものづくりに携わる生産技術者必読の小冊子を3部構成にて作成しました。
【第1部】これからのものづくりにおける生産技術の役割
【第2部】生産企画
【第3部】先行生産技術の開発

4 特別小冊子「これからの第一線監督者の役割」プレゼント
これからの日本の製造業を支える第一線監督者必読の小冊子を3部構成にて作成しました。
【第1部】『ものづくり現場』の現状
【第2部】第一線監督者の役割と必要能力
【第3部】第一線監督者の育成

5 特別小冊子「これからの調達部門の役割」プレゼント
購買・調達部門の変遷と現状、そしてこれからの役割について記した小冊子を作成しました。

6 メールマガジン登録
日本能率協会ではものづくりに関わる貴重な情報をメールマガジンにて発信しています。
この機会に是非ご登録ください。

7 事前質問受付
2015ものづくり総合大会では、公式サイトから講演者に事前質問を送ることが出来ます。

講演内容に興味があり、聴講したい講演者に対し、できるだけ詳しく聞きたい点や自分が直面している課題等を事前に伝えてみましょう。
講演者がその質問をふまえた対応をしてくれる可能性があります。

また、事前質問を表明することは、自分の頭の中を整理することにつながります。
事前質問を送り、自分の課題を明確化し、聴講する準備を整えましょう。

古代中国の偉人、老子の教えにもあるように、“聞くだけでなく見る” “見るだけでなく体験する”ことが、より高い聴講効果と内容理解をもたらすと考えられます。
事前質問を活用し、より体験的な聴講機会としてください。

事前質問は事務局より講演者にお伝えするとともに、講演終了後の質疑応答の時間に採用される場合もあります。
本大会が、みなさまにとってより価値ある機会になればと願っています。

経営革新を推進する
JMA 一般社団法人日本能率協会

お問い合わせコードNo. HDB81A
最終案内

ものづくり総合大会はさらに進化を続けています！

第52回 2015 ものづくり総合大会

会期 2015年2月18日(水)→20日(金) 3日間
会場 東京コンファレンスセンター・品川
URL http://jma-seisan.jp/ ものづくり総合大会 ［検 索］

オープニングセッション

（敬称略）

JMAものづくり貢献賞

日野自動車株式会社
特任顧問
蛇川 忠暉

マツダ株式会社
相談役
井巻 久一

特別講演

ダイキン工業株式会社
取締役 兼 専務執行役員
冨田 次郎

トヨタ自動車株式会社
専務役員
牟田 弘文

日産自動車株式会社
取締役副社長
松元 史明

参加対象

分野		
生産分野	生産技術 生産企画 生産戦略	生産管理 人材育成
調達分野	購　買 調　達 開発購買	SCM 購買戦略
開発分野	開　発 設　計 研　究	R＆D 商品企画
品質分野	品質保証	品質管理

※今回、新しく品質分野が加わりました。
上記部門に携わる幹部・マネジャー・スタッフの方々。

参加申込書 FAX.03-3434-5505 こちらからもお申込みいただけます http://jma-seisan.jp/

2015 ものづくり総合大会
2015年2月18日(水)～20日(金)

ふりがな 会社名（正式名称）		事業所名		参加区分	□日本能率協会法人会員 □上記会員外
所在地	〒			電話番号（市外局番からご記入ください）	（　　）
ふりがな 派　遣 責任者名		所属役職名		FAX番号（市外局番からご記入ください）	（　　）
E-mail		JMA主催の関連催し物のメール配信を希望		□する	□しない

（参加者欄 ×3）

		参加されるセッションの□印に✓点をいれてください。							受付No.
ふりがな 参加者名		2/18(水)	2/19(木)			2/20(金)			
所属・役職名		□OP	□A-1 □B-1 □C-1 □D-1 □E-1 □F-1	□A-2 □B-2 □C-2 □D-2 □E-2 □F-2	□A-3 □B-3 □C-3 □D-3 □E-3 □F-3	□A-4 □B-4 □C-4 □D-4 □E-4 □F-4	□A-5 □B-5 □C-5 □D-5 □E-5 □F-5	□A-6 □B-6 □C-6 □D-6 □E-6 □F-6	
E-mail									
JMA主催の関連催し物のメール配信を希望	□する　□しない								

料金			日本能率協会への連絡希望事項
参加料	1日単位	日 ×　　円 =　　円	
参加料	全期間	人 ×　　円 =　　円	
合本		冊 ×　　円 =　　円	
合計		円（税抜）	
お振込予定日		月　　日	

参加証・請求書はこの方あてにお送りいたします。それ以外をご希望の場合は、連絡・希望事項欄へご記入ください。

参加申込先、参加証・請求書に関する問い合わせ先

〒105-8522　東京都港区芝公園3-1-22
一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメントスクール
FAX：03-3434-5505　TEL：03-3434-6271　E-mail：seminar@jma.or.jp
（受付時間）月～金曜日9:00～17:00（ただし年末年始および土・日・祝日を除く）

HDB81A

参加証発行日	請求書発行日	領　収　日

2015 ものづくり総合大会 参加申込規定

参 加 料

1名あたり参加料（税抜）／参加区分	全期間参加料（3日間）	1日単位参加料
一般社団法人日本能率協会法人会員	128,000円	48,000円
上記会員外	133,000円	54,000円

※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
- ●参加申込みは、3日間もしくは1日単位となります。
- ●期間内の交代参加が可能です。参加証を受付にてお預かりする事もできます。その際、交替で参加される方のお名前をお知らせください。
- ●参加料には、参加されるセッションのテキスト資料（分冊）代が含まれます。
- ●法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/

テキスト合本 特別頒布価格1冊あたり（税抜）	
2015ものづくり総合大会参加者	50,000円
参加者以外	250,000円

※テキスト合本は、オープニングセッション・A1～F6の全30セッションのテキストならびにコーディネータによる解説を加えた資料です。
※参加セッションのテキスト資料（分冊）につきましては、受付にてお渡しいたします。

参加申込方法

- 申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送でお送りください。インターネットからもお申し込みいただけます。
（開催間際のお申込みは、定員の関係上ご参加いただけないこともございます。あらかじめ残席を電話でご確認ください。）
- 電話ではご予約のみの承りとなります。その場合でも申込書は必ずお送りください。
- 参加証・請求書は開催1か月前から発送を開始いたします。
なお、1か月以内のお申込みの場合は、申込書受領後1週間ほどで参加証・請求書を発送いたします。
- 参加料は請求書に記載されております、「お支払い期限」までに指定の銀行口座へお振込みください。期限までにお支払いいただけないお客様については、ご参加いただけない場合がございますのでご注意ください。
なお、支払い期限が過ぎてしまう場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日のご連絡をお願いいたします。
（振込み手数料については貴社にてご負担ください）
- 参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。

【キャンセル規定】
開催7日前（開催初日を含まず起算）～前々日…参加料の30%
開催前日および当日……………………………参加料全額

万一キャンセルの場合は必ずファックスでご連絡ください。

ご 注 意

- テキスト資料は会場でお渡しします。
- 参加者以外の方への合本のお渡しは開催後発送させていただきます。
- 会場内での携帯電話・パソコンの利用および録音機・ビデオ・カメラ等による録音・録画・撮影はご遠慮ください。
- お申込みをいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。

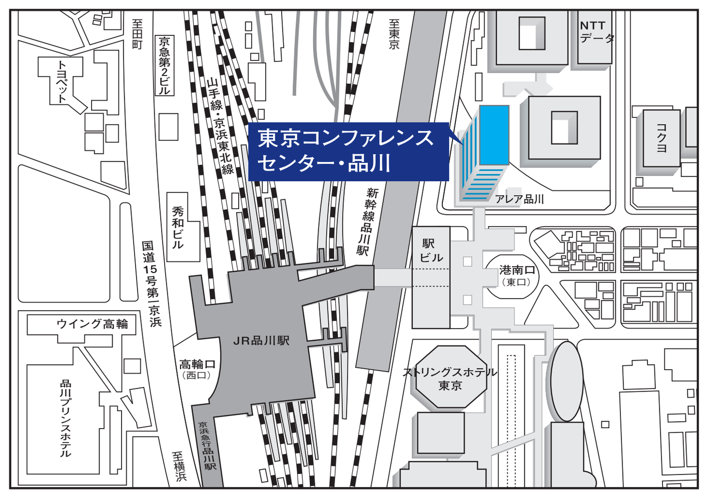
報道関係の皆様へ

取材を希望される場合は、事前に広報グループ（Tel:03-3434-8620）までお問合せください。当日会場での取材申込はお断りすることがあります。

会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。会員外の方はこの機会に是非入会をご検討ください。
お問い合わせ：TEL 03 (3434) 1410

会場案内



■ 所 在 地
東京コンファレンスセンター・品川
東京都港区港南1-9-36　アレア品川
TEL：03-6717-7000
※参加者のお呼び出しはできません。

■ 交通のご案内
JR品川駅港南口（東口）より徒歩2分
（JR山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、東海道新幹線 等）

参加申込先、参加証・請求書に関する問い合わせ先

〒105-8522
東京都港区芝公園3-1-22
一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメントスクール
FAX：03-3434-5505
TEL：03-3434-6271
E-mail：seminar@jma.or.jp
（受付時間）月～金曜日9:00～17:00（ただし年末年始および土・日・祝日を除く）

プログラム内容のお問い合せ先

ものづくり総合大会事務局
TEL：03-3434-1410

免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(http://www.jma.or.jp/privacy/)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

2015ものづくり総合大会 企画委員

（順不同・敬称略）

委員長	新　誠一	国立大学法人電気通信大学 情報理工学研究科 知能機械工学専攻 教授
委　員	後藤　愼二	旭化成株式会社 生産技術本部 生産技術センター センター長
	中川　昭彦	オムロン株式会社 グローバルものづくり革新本部 購買プロセス革新センタ 原価企画革新部 部長
	五十川正彦	オリンパス株式会社 ものづくり革新センター 統括室 生産企画部 製造人材企画グループ 課長
	奈良　昭彦	オリンパス株式会社 ものづくり革新センター 統括室 購買企画部 部長
	大谷　泰久	花王株式会社 ビューティケアSCMセンター 部長（技術担当）
	真崎　武	サンデン株式会社 生産本部 工機開発部 部長
	戸田　茂生	セイコーエプソン株式会社 ものづくり塾 部長
	関根　淳一	ソニー株式会社 生産技術部門 戦略担当部長
	川村　浩之	TDK株式会社 生産本部 生産技術グループ モノづくり推進部 統括課長
	高田　淳	株式会社東芝 生産企画部 参事
	永安　直人	東レ株式会社 生産本部 嘱託 技術士
	井上　眞一	トヨタ自動車株式会社 生技管理部 PP（プロフェッショナルパートナー）
	中里　芳夫	日産自動車株式会社 APW推進部 シニアエンジニア
	久保田紀行	日本電気株式会社 ものづくり統括本部長
	吉野　浩	日本電気株式会社 ソリューション調達本部 調達改革統括部 シニアエキスパート
	山村　聡	パナソニック株式会社 モノづくり本部 企画グループ グループマネージャー
	折橋　律郎	株式会社日立製作所 モノづくり戦略本部 企画部 担当部長
	清水目　勉	富士ゼロックス株式会社 プロフェッショナル・アドバイザー部 グループ長
	前田　智彦	富士通株式会社 テクノロジ&ものづくり本部 生産革新センター シニアディレクター
	万年　博之	本田技研工業株式会社 四輪事業本部 生産統括部 生産企画統括部 事業企画室 室長
	津山　哲基	三菱重工業株式会社 技術統括本部 ものづくり革新推進部 戦略グループ グループ長
	江頭　誠	三菱電機株式会社 生産技術部 主管技師長
	鈴木　晴久	ヤマハ発動機株式会社 生産本部 生産戦略統括部 生産管理部 部長
	杉浦　純一	横河マニュファクチャリング株式会社 生産技術開発部 部長
	加々美　茂	横浜ゴム株式会社 タイヤ生産技術本部 本部長
	万代　好孝	ライオン株式会社 生産本部 生産管理部 担当部長
	高月　章吾	株式会社リコー グローバル生産革新センタ 生産改革室 GPD推進グループ グループリーダー

企画委員会ディスカッション　無料プレゼント

ダウンロードはこちら ⇒ URL▶ http://jma-seisan.jp/15kd

日本のものづくり企業から集った、27人の精鋭たち。
この方々は、日本能率協会より企画委員の派遣をご依頼させていただいた先進企業から集まった選抜メンバーです。
この企画委員の方々の知恵と英知を結集し“2015ものづくり総合大会”のプログラムは生まれました。

ものづくり総合大会は、50年超の歴史を誇る優秀企業事例講演会です。
その背景には、
“日本の製造業をよりよいものにしたい”という使命感
“いま、学ぶべきことは何なのか”という課題感
“みんなで知恵を出しあおう”という連帯感
を基にした、企画委員の想いがあるのです。

本年度、52回目の開催となる2015ものづくり総合大会も、企画委員の生の声を起点にして構成されています。
本冊子では、現在の日本製造業が抱える課題感やニーズの一端を表出化し、そこから生まれた2015ものづくり総合大会プログラムについて、事務局の視点から整理し、ご紹介します。

2015 ものづくり総合大会　事務局

2015 ものづくり総合大会

ものづくり総合大会はさらに進化を続けています！

- 2015年2月18日(水)→20日(金) 3日間
- 東京コンファレンスセンター・品川
- http://jma-seisan.jp/

ものづくり総合大会 検索

●大会HP

●参加対象

- 生産分野：生産技術 生産企画 生産戦略 生産管理 人材育成
- 調達分野：購買 調達 開発購買 SCM 購買戦略
- 開発分野：開発 設計 研究 R&D 商品企画
- 品質分野：品質保証 品質管理

上記部門に携わる幹部・マネジャー・スタッフの方々。

（敬称略）

1日目 2月18日(水)

OP オープニングセッション 10:00〜16:50

（敬称略）

◆ 主催挨拶 10:00〜10:05

◆ 委員長挨拶 10:05〜10:10

◆ JMAものづくり貢献賞 10:10〜11:20

【表彰式 10:10〜10:20】 【受賞記念講話 10:20〜11:20】

日野自動車株式会社

特任顧問 **蛇川 忠暉**

「ものづくりへの期待」（仮題）

【略 歴】
昭和36年 4月 トヨタ自動車工業株式会社に入社（現 トヨタ自動車株式会社）
平成 8年 6月 同社 専務取締役
平成11年 6月 同社 取締役副社長
平成13年 6月 日野自動車株式会社 代表取締役社長 トヨタ自動車株式会社 相談役
平成16年 6月 日野自動車株式会社 代表取締役会長 トヨタ自動車株式会社 顧問
平成25年 6月 日野自動車株式会社 特任顧問
平成26年11月 旭日重光章 受章
【JMAの主な役職】
平成17年10月〜平成21年 9月 JMA生産部門評議員会 議長

マツダ株式会社

相談役 **井巻 久一**

「“ものづくり”を振り返る」

【略 歴】
昭和40年 4月 マツダ株式会社入社
平成11年 6月 同社 専務取締役 生産技術・製造・物流担当
平成14年 3月 同社 代表取締役副社長 研究開発・生産・品質・物流統括
平成15年 8月 同社 代表取締役社長 兼 CEO（経営最高責任者）
平成18年 6月 同社 代表取締役会長 社長 兼 CEO（経営最高責任者）
平成24年 7月 同社 相談役
【JMAの主な役職】
平成19年10月〜平成23年 9月 JMA中国・四国地域評議員会 議長

◆ **JMAものづくり貢献賞とは**

長年にわたり、ものづくりの改革・改善分野において、自社はもとより産業界の発展に大きく貢献され、かつ日本能率協会の同分野における活動への貢献が顕著に認められる企業人（個人）を選定し、「ものづくり総合大会」において表彰することにより、その労に報いるとともに、その功績を産業界に広く紹介するものです。
今回、2015ものづくり総合大会での贈賞が初めてとなります。
蛇川様ならびに井巻様より受賞記念講話をいただきます。

◆ 特別講演 1 11:40〜12:50

ダイキン工業株式会社

取締役 兼 専務執行役員 **冨田 次郎**

「ダイキンのものづくりとグローバル展開」

①現地ニーズを取り込んだエアコンのものづくり
②グローバル市場最寄化の生産戦略
③世界の拠点をリードするマザー機能の役割

【略 歴】
昭和45年 4月 ダイキン工業株式会社入社
平成12年 5月 ダイキンヨーロッパ社取締役 生産本部長
平成20年 6月 ダイキン工業株式会社 専任役員 就任
平成22年 5月 同社 執行役員 就任 空調生産本部長
平成22年 6月 同社 取締役兼常務執行役員 就任 空調生産本部長
平成23年 6月 同社 取締役兼専務執行役員 就任 空調生産本部長、堺製作所長

◆ 特別講演 2 14:10〜15:20

トヨタ自動車株式会社

専務役員 **牟田 弘文**

「トヨタの目指すモノづくり・人づくり」

①トヨタを取り巻く経営環境
②いいクルマづくりとTNGA
③いいクルマづくりのできる人づくり

【略 歴】
昭和53年 4月 トヨタ自動車工業株式会社入社（現 トヨタ自動車株式会社）
平成18年 6月 同社 常務役員 就任
平成23年 4月 同社 専務役員 就任
同社 生産技術本部 本部長
平成25年 4月 同社 車両系生産技術・製造本部 本部長
平成26年 4月 同社 TNGA企画部統括

◆ 特別講演 3 15:40〜16:50

日産自動車株式会社

取締役副社長 **松元 史明**

「日産のグローバルモノづくり戦略」

①会社概要 ②日産のグローバル展開
②-1 生産・人財・調達・開発の現地化
②-2 日本のモノづくりの役割

【略 歴】
昭和56年 4月 日産自動車株式会社入社
平成15年 4月 同社 生産事業 NPW推進部 部長
平成19年 4月 同社 SCM本部 SCM企画部 部長
平成20年 8月 モトールイベリカ会社出向 管理（社長）
平成22年 4月 東風汽車有限公司（DFLPV社長）
平成26年 4月 日産自動車株式会社 取締役副社長 生産事業担当

2日目 2月19日(木) 10:00〜16:30

10:00〜11:40 ／ 12:50〜14:30 ／ 14:50〜16:30

生産分野 A GOOD FACTORY賞 “日本の優秀工場”に学ぶ

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 石山 真実

A-1 ㈱東芝 セミコンダクター&ストレージ社
四日市工場
工場長 渡辺 友治
ファクトリーマネジメントの取組み
①東芝四日市工場概況
②生産活動の変革と人財育成
③受賞を契機に
DRAMからNAND、200mm手動から300mm自動化CRへ、更に拡大を続ける工場の中で、生産活動の変革と人財育成の工夫を幾つかの事例と共に紹介する。

A-2 小島プレス工業㈱
下市場部品部
主査 加藤 秀実
マザー力を高めて世界最安値のものづくりへの挑戦
①得意先の困り事や要望、期待を形にしていく 展示フロアでの提案 〜ブラッシュアップ活動
②独自のものづくりを実現するために、加工法・設備を開発する「造るものをつくる」活動
③これらを支える人材育成
製造業が海外シフト、国内生産減少へと進む中、国内生産を守っていくために日本的経営、まねのできない独自のものづくりの追求、最適生産ラインづくりに取組んでいる。

A-3 ㈱島根富士通
生産革新センター長
佐藤 昌之
「MADE IN JAPAN」へのこだわり
①出雲発のものづくり
②現場力強化を目指す人財育成
③地域貢献活動の取組み
プリント板製造〜製品梱包まで一貫した国内生産にこだわり、海外に負けないコスト競争力と高品質なものづくりを展開している。これを支える人財育成についての取組みを紹介する。

◆ GOOD FACTORY賞とは — 生産性向上・品質向上をはじめとした巾広い工場革新活動に成果を上げた工場・事業所を顕彰する表彰制度です。日本製造業ものづくり力強化へ向けた、日本能率協会の新たな取組みです。

開発分野 B 強みを活かす

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 野元 伸一郎

B-1 富士フイルム㈱
高機能材料開発本部
次長 柳原 直人
富士フイルムの新規事業創出
①第二の創業
②オープン・イノベーション
③基盤技術とコア技術
写真産業が衰退する中で、富士フイルムが行った第二の創業と創立80周年を記念して、加速させているオープン・イノベーションへの取組みについて説明し、これらを支える技術について解説する。

B-2 ㈱島津製作所
医用機器事業部技術部・副部長（兼）基盤技術研究所 新事業開発室・担当部長
井上 芳浩
島津製作所の強みを活かした技術開発による商品展開
①独自の技術を有する乳房専用PET装置
②PET技術を利用した食品放射能検査装置への展開
③医用機器と分析機器の融合である近赤外光脳機能イメージング装置（fNIRS）
島津製作所の強みを活かした技術開発と商品展開について、乳房専用PET装置、食品放射能検査装置、近赤外光脳機能イメージング装置（fNIRS）を中心に紹介する。

B-3 経済産業省
製造産業局 ものづくり政策審議室長
西垣 淳子
製造業の現状と課題
①足下の製造業の状況認識
②我が国製造業の稼ぎ方の変化
③デジタル社会の中での製造業の変容の方向（IoT社会にむけて）
マクロデータからみる製造業企業の業績等をベースとしつつ、我が国の製造業の稼ぎ方の変化の動向を分析する。その上で、ビッグデータ活用やAI技術の進展の中でものづくりがどう変わっていくかについて、米国やドイツのインダストリー4.0の動きなども交えつつ最近の動向を紹介する。

調達分野 C サプライチェーンマネジメント

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 加賀美 行彦

C-1 トヨタ自動車㈱
調達本部 調達企画・TNGA推進部
部長 好田 博昭
調達トヨタウェイと、サプライチェーンマネジメント強化の取組み
①トヨタサプライチェーンの歴史・特色
②過去の危機対応を通じた学び（東日本大震災）
③サプライチェーン強化に向けた調達の取組み（持続的成長に向けて）
トヨタの歴史と、過去の危機対応での経験（震災・リーマン）を振り返りながら、トヨタ調達の持続的成長に向けた取組みを、サプライチェーン強化の活動を例に紹介する。

C-2 花王㈱
ロジスティクス部門
統括 関根 史麿
花王におけるサプライチェーン全体最適活動
①花王の“よきモノづくり”を支えるTCR活動
②需要予測に基づく市場連動型サプライチェーン体制の構築
③販売・ロジ・生産・調達が一体となった取組み事例
“よきモノづくり”を通じ、豊かな生活文化を実現するという企業理念のもと、花王が一体となり推進してきたサプライチェーン活動と、グローバル一体運営について報告する。

C-3 ボーイング ジャパン㈱
社長 George Maffeo
同時通訳あり
ボーイングにおけるサプライチェーンマネジメント（仮）
詳細は公式HP<http://jma-seisan.jp/>をご参照ください。

品質分野 D 攻めの品質 高品質を武器に

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 松田 将寿

D-1 ㈱資生堂
執行役員 保坂 匡哉
お客さま満足向上に向けた高品質なものづくり
①化粧品業界を取り巻く環境変化
②資生堂の品質活動
③今後の方向性
化粧品業界を取り巻くグローバル化・ボーダレス化の環境変化に対応するとともに、お客さま満足とブランド価値向上につなげる資生堂の品質保証活動を紹介する。

D-2 味の素㈱ クノール食品㈱
経営企画センター IMS部
部長 御堂 直樹
味の素における品質へのこだわり
①品質保証体制
②原料の安定品質へのこだわり
③お客様の声へのこだわり
加工食品では、原料の安定品質の実現やお客様の声の製品への反映が、製品の価値向上に極めて重要である。これらの取組みについて、実例を交えて紹介する。

D-3 日本ヒューレット・パッカード㈱
PPSサプライチェーン本部 本部長
昭島事業所長 清水 直行
進化する“MADE IN TOKYO” —ハイブリッドファクトリー ～東京生産を実現するSCMと生産体制～
①グローバルなのに国内生産
②フルカスタマイズなのに短納期
③生産拠点なのにサービス拠点
豊富なカスタマイズメニューでお客様のご要望にあったPCを生産、注文から5営業日で納品、高品質なサービスと低価格を提供するHPの東京生産を紹介する。

生産分野 E たゆまぬ生産技術力強化

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 石田 秀夫

E-1 ㈱安川電機
生産・業務本部 生産技術センタ
センタ長 馬場 天
安川電機におけるロボットを活用した自動化の取組みと今後の展開
①安川電機での自動化の取組み内容
②活用事例
③新規技術を使っての今後の展開
安川電機では、2009年から全社プロジェクトとしてロボットを活用した生産ラインの自動化に取組んでいる。設備を導入する際の考え方を紹介するとともに、今まで導入した設備事例もビデオを交えながら紹介する。また、新規技術として、視覚、力覚センサを使った事例、さらに、サーボハンドを使った事例を紹介する。

E-2 日産自動車㈱
パワートレイン生産技術本部 成形技術部 サスペンション・アクスルグループ
エキスパートリーダー 森田 司
開発から生産準備における一気通貫体制によるものづくりへの挑戦
①サス・アクスルグループの紹介
②一気通貫体制による開発プロセス紹介
③取組み事例紹介
自前設計から生産準備・立ち上げを行う中で、プロダクションエンジニアがデザインすることにより工程の節をなくすことができ、コスト削減ができる事例をビデオを交えて紹介する。

E-3 ㈱ワイ・ディ・シー
執行役員 関西支社長
杉野 吉伸
製造業ならではのデータ活用の考え方と取組み
①データ活用のための製造業特有の問題点とは
②有効活用には、何が、どこが肝なのか
③実際の活用事例は
現場のデータは種類・量ともに確実に増えている。製造業特有の事情を考慮すればこれらを使い、有効活用が可能となる。その活用の考え方・方法を、数社の事例を交え紹介する。

生産分野 F 人材育成“国内強化”

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 小澤 勇夫

F-1 三菱電機㈱
人材開発センター ものづくり教室
教室長 織田 昌雄
もう一段高いレベルの成長を実現するためのものづくり人材育成
①三菱電機におけるものづくり人材育成
②顧客視点のものづくりで変革を起こす
③メーカーの原点である強いものづくり力
明日の事業を担うコア人材の計画的育成のための三菱電機ビジネスイノベーションスクール、トップレベルの技能者を育成する三菱電機グループ技能競技大会について紹介する。

F-2 ダイハツ工業㈱
本社（池田）京都工場 第1製造部 組立課
主任 中山 浩
見えない異常との奮闘記

F-2 ヤマハファインテック㈱
カーパーツ事業部 生産部 仕上生産課
工長 中村 貴則
為せば成る ～信頼関係から高める現場力～
詳細は公式HP<http://jma-seisan.jp/>をご参照ください。

F-3 ㈱デンソー技研センター
技能研修部
部長 鯉江 充治
デンソーにおけるものづくり人材育成
①デンソーにおけるものづくり人材育成の概要
②若年技能者の育成（養成訓練、技能五輪訓練）
③国内外デンソー及びG会社の製造人材育成（管理・監督者を含む）
弊社デンソーにおける企業内訓練、技能五輪、国内外デンソー及びG会社の製造人材育成の取組みを、映像と事例を中心に紹介する。

3日目 2月20日(金) 10:00〜16:30

10:00〜11:40 ／ 12:50〜14:30 ／ 14:50〜16:30

A 海外のものづくりに学ぶ

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 石山 真実

A-4 ㈱ローランド・ベルガー（Roland Berger）
日本共同代表 シニア パートナー
長島 聡
新たな産業革命の取組み Industry 4.0
①Industry 4.0とその背景
②欧州発の最新事例
③日本版Industry 4.0
Industry 4.0とは、製造業の生産性を飛躍的に高める取組み。縦割りの事業運営からICTによる全体俯瞰でムダ・ムラを省くとともに、圧倒的な性能も追及。欧州事例を学び、日本の進むべき道を考える。

A-5 ボッシュ㈱（BOSCH）
製造総括コーディネーション担当
モノづくり推進室 マネージャー 女部田 晃
モノづくりを基軸とした人材の育成
①階層別教育
②固有技能伝承教育
③自己啓発・サポート
ボッシュは、これまでの人材育成の取組みを基に、体系化を図るべく2007年8月にモノづくり推進センターを設立。同施設ではコアとなる技能・技術をセンターに集約しモノづくりの根底を支えるOJT教育の完成を目指し、継続的な教育の推進を紹介する。

A-6 ㈲生産技術情報センター
代表 梶 文彦
ドイツのものづくり思想と最近の動き
①ドイツとEU —グローバル化の功罪—
②ドイツ人のものづくり発想 —デュアルシステム—
③ドイツマネジメントの最近の動き —インダストリー4.0—
ドイツは独立国であると同時に、EUの一員である。このことがドイツ経済に大きな影響を与えている。ドイツ人のものづくり発想を歴史的に振り返りながら、最近の動きを紹介する。

B 社内連携と企業連携

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 野元 伸一郎

B-4 ㈱日立製作所
モノづくり戦略本部
担当本部長 堀水 修
日立が進めるグループ一丸でのモノづくり改革の取組み
①コスト構造改革（Hitachi Smart Transformation PJ）の取組み
②グループ内連携・End to Endでの改革推進
③グローバル成長に向けたモノづくり改革（設計/SCM/製造）
日立が真のグローバルカンパニーへの変容を目指して推進している1. オペレーション力（SCM）、2. 設計開発力、3. モノづくり力の3つの強化施策を紹介する。

B-5 マツダ㈱
商品戦略本部
本部長 梅下 隆一
マツダのクルマ創りと組織・ヒト
①マツダならではのクルマ創りのこだわりの紹介
②それを生み出す組織とヒトの紹介
マツダならではのクルマ創りのこだわりの事例を紹介し、あわせてそれを生み出していく組織やヒトの取組み・考え方・思想を紹介する。

B-6 本田技研工業㈱
四輪事業本部 生産統括部 生産企画統括部
完成車新機種推進室 室長 上野 充弘
ホンダにおける新機種生産準備プロセスのグローバル連携について
①ホンダのグローバル生産展開
②コンパクトシリーズのグローバル展開
③グローバル拠点間連携
Fit/Vezel/Graceのコンパクトシリーズにおけるグローバル展開の取組み施策を紹介する。

C サプライチェーンマネジメント／開発購買

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 加賀美 行彦

C-4 日本通運㈱
東京航空支店 国際貨物部
グローバルマーケティングセンター
部長 柿山 慎一
ASEAN・南アジアにおける物流事情と日本通運の取組みについて
①ASEAN・南アジアの市場環境
②ASEAN・南アジアにおける物流面での課題
③当社ロジスティクスソリューション事例と輸送サービスネットワーク
経済発展の著しいASEAN・南アジアを題材に日本通運のロジスティクスソリューション事例を紹介する。ASEAN・南アジアはまだまだ物流面での課題も多く、現実に即した対応が必要。日本通運がこの地域でどのようにそれらの課題に対応し、どのようなネットワークを整備しているのか、最新の取組みにも触れながら紹介する。

C-5 ㈱日本能率協会コンサルティング
シニア・コンサルタント 加賀美 行彦
開発購買推進のポイントと、今後の課題
①開発購買の役割とポイント
②推進事例
③今後のグローバルものづくりを踏まえた課題
開発購買の重要性が唱えられて、久しい。
数年前までは、重要性は認識しているものの一向に進まないと言った課題が多かったが、近年は、様々な推進上の課題はあるものの取組みを進め始めている企業が多くなってきた。本講演では、改めて開発購買の役割とポイントを推進事例を交えて整理するとともに、加速するグローバル化における課題整理を試みる。

C-6 オムロン㈱
グローバルものづくり革新本部 購買プロセス革新センタ
原価企画革新部 専門職 柳瀬 晃
オムロンにおける原価企画・開発購買の取組み
①原価企画の取組み
②原価企画を支える部材の取組み
③原価企画の最近の取組み
購買プロセス革新活動のひとつとして、目標原価を作り込む観点から開発購買を含む原価企画によるコスト開発の普及に取組んでいる。当社のコスト開発活動について紹介する。

D 攻めの品質 高品質を武器に

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 松田 将寿

D-4 ㈱MEマネジメントサービス
代表取締役 小川 正樹
品質工学と3Dデータから見る日本製造業の強さ
①ものづくり戦略における品質の役割を確立する
②品質レベルをコントロールするものづくりプロセスを構築する
③人や技術力などリソース（経営資源）を最適配分する
品質は日本製造業の強さを発揮する一つの要因であるが、グローバル化やコモディティ化に対応するには顧客の要求に応じて品質レベルをコントロールするものづくりが必要になるので、そのために必要な視点や取組みについて紹介する。

D-5 キユーピー㈱
品質保証本部 品質保証部
部長 内田 昌則
キユーピーグループの食品防御・品質向上の取組みについて
①語り継がれてきた言葉
②食品防御・品質向上の取組み
③わくわく活動（改善活動）
キユーピーグループの創始者から引き継がれてきた品質に纏わる歴史と昨今注目されている食品安全を含めた品質保証体制について紹介する。

D-6 NEC
サプライチェーン統括ユニット
主席品質主幹 市原 直人
品質を全員で作り込む
①NECのTQMの歩みと最近の課題
②プロセスで品質を作り込む
③一人ひとりの品質マインドと行動を変える
NECグループにおけるHW、SW、ソリューション、サービスといった多様なビジネス全てに横串をさして、全社共通で進めている「品質のNEC」を作っていくための活動を紹介する。

E ものづくり力強化とひとづくり

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 石田 秀夫

E-4 東芝コンピュータテクノロジー㈱
顧問 矢野 義行
東芝情報機器フィリピン社におけるモノづくりと人財力強化
①経営のPDCAとコミュニケーション強化
②モノづくり力強化
③グローバル人財力強化
現地スタッフの経営参画、徹底的なコミュニケーション推進、グローバル人財育成等の「マネジメントのオープン化・フラット化」による継続的なモノづくり力強化の事例を紹介する。

E-5 オリンパス㈱
ものづくり革新センター 製造技術本部 設備技術部
課長 小松 直行
優秀な設備保全マンの育成と新規の設備開発に生かす取組み
①ものづくり強化に向けた保全技術／技能の紹介
②優秀な保全マンを育成するための独自の工夫
③設備保全内容を新規の設備開発に生かす取組み
ものづくりの差別化を図るために、当社は生産設備の自社開発を45年間続けてきた。優秀な設備保全マンを独自の工夫で育成し、また設備保全内容を新規の設備開発に生かし、ものづくり力の更なる強化を目指している。

E-6 富士ゼロックス㈱
プロフェッショナル・アドバイザー部
エグゼクティブアドバイザー 岡地 俊彦
富士ゼロックスシンセンにおける人材育成
①克服しなければならない環境
②経営のベクトル合わせと価値観の共有・人材育成の環境づくり
③人材育成の実際と成果
富士ゼロックスが中国華南地区で実践する、人材育成と意識改革によるメーカー体質づくりの事例を通し、経営課題そのものを現地人材主体で取組むことの必要性を紹介する。

F 人材育成“グローバル強化”

コーディネータ：㈱日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 小澤 勇夫

F-4 オリンパス㈱
ものづくり革新センター 統括室 生産企画部
製造人材企画グループ 課長 五十川 正彦
卓越したものづくり人材の育成と継承、グローバル展開
①オリンパスのものづくりの特徴と人材育成体系
②高度技能者の地道な育成と技能継承
③改善を推進する人材育成のグローバル展開
黄綬褒章、現代の名工等、卓越した高度な技能者を輩出し続けるオリンパスの技能者育成と、異文化を持つ海外拠点で核となって改善を推し進める人材の育成・活動について紹介する。

F-5 ㈱良品計画
総務人事担当部長
矢島 岐
良品計画の人材育成の取組み
①MUJIってこんな会社です
②仕組み作りと風土化
③グローバルに！（採用と交流）
よりグローバル化を求められるブランドをどう維持、強化していくか？そのために国内人材の育成とグローバル人材のそれにMUJIがどう取組んでいるかを紹介する。

F-6 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス㈱
取締役 人事総務本部長
島田 由香
ユニリーバのグローバル人材育成
①ユニリーバのビジョンと概要
②グローバルタレントマネジメントとは
③求められるのは強さとしなやかさ
ユニリーバ全社におけるキーワード“持続性”のもと、世界で統一されたタレントマネジメントシステムを通じたグローバル人材育成について、その取組みや考え方を事例を交え紹介する。

ホームページで最新のプログラムがご覧いただけます。 ものづくり総合大会 検索 ※セッション内容は今後変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。